



田平天主堂

平戸瀬戸を望む丘陵地に建つ教会堂で、2018年に献堂100周年を迎える。地元では所在地名から瀬戸山天主堂とも呼ばれる。設計・施工は鉄川與助

キリスト教文化遺産群を訪ねて
② 平戸市

解禁後に移住した信徒によって建てられた田平天主堂

平戸ではフランシスコ・ザビエルによって宣教が行われ、キリスト教が繁栄しました。その後、禁教と密かな継承の時代を経て、復活を遂げた歴史があります。中でも、春日集落や根獅子集落などは潜伏キリシタンの伝統文化が色濃く継承されてきた集落で、現在も信仰にまつわる遺跡や殉教にまつわる聖地など多くのキリスト教文化遺産や自然が残され、「平戸島の文化的景観」として国の重要文化的景観に選定されています。

解禁後、瀬戸山地区には農地が少なかった黒島や出津の信徒が開拓移住し、入植者によって田平天主堂が建てられ、その後も各地から信徒が移住してきました。現在のレンガ造りの天主堂は、フランス人による寄附や信徒の積立金、労働奉仕などにより1918年に完成。黒色のレンガによる装飾や英国式のレンガ積み手法、八角形ドーム型の屋根を備えた鐘塔が特徴です。

【キリスト教文化遺産群】

世界遺産候補「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」とともにキリスト教が日本でどのように伝わり、広まり、根付いていったかを示す貴重な遺産です

おらしょこころ旅 検索



ほうこく 宝亀教会堂

1898年頃にマタラ神父の指導により完成した平戸市に現存する最も古い教会堂。木造平屋建て、正面のみレンガモルタル造で、左右側面のコロニアル様式のベランダが特徴

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産教会堂見学は事前連絡が必要です

田平天主堂や世界遺産候補の集落内にある教会堂を見学する場合は、下記窓口へ事前連絡をお願いします。(大浦天主堂は不要)

問合せ インフォメーションセンター ☎095-823-7650

キリシタン遺産 センター 検索

問合せ 県の世界遺産登録推進課 ☎095-894-3171